

「私が描く10年後のとくしまの姿」の主な意見

経済・雇用	安全・安心	教育・福祉	環境・地域づくり	にぎわい
<ul style="list-style-type: none"> ・植物工場により農作物の生産を行う農業法人を設立し、若者に安定した雇用の場を創出 ・県がバーチャル・産直市のホームページを作成し、資格審査をパスした個人事業主に出店してもらうことにより、ネット販売への意欲がありながら、ノウハウがないため参入を躊躇していた農水産業者を支援 ・大規模な産直市を開設するとともに、自ら出荷できない人の集荷システムを整え、中山間地域の人々が元気に働くことができる社会を目指す ・地域の農産物を加工し、付加価値を付けて販売することにより地域を活性化(地元の農産物等を利用した健康志向の農家レストラン経営や土産物販売など) ・農畜産物の付加価値やブランド力を高め、中国、韓国、台湾など東南アジアへの輸出を促進 ・県産木材で家を建てた場合は、固定資産税を5年間免除し、県産木材の使用量(木材自給率)を倍増させる ・養殖漁業の推進・効率化を図るとともに、ブランド商品を育成 ・海外企業向けの大胆な優遇制度と規制緩和により、海外企業の進出を図り雇用を増やす ・空店舗や土地を若者に安価に賃貸する制度や出店した店舗を無償でPRすることで、中心市街地の活性化を図る ・県が産・学の連携を促進することにより、高校・大学等で地元企業が求める人材が育成できるようにし、本県の学生が本県で就職できるように努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの学舎であるとともに、地域の方の避難場所ともなる小・中・高校の耐震工事を早急に行い、学校の耐震化率アップを図る ・県内におけるLED式信号の割合を100%にし、視認性の向上により交通事故の減少を目指す ・ドクターヘリによる広域的な取り組みにより県民の生命を守る ・病院など医療機関の偏在を解消し、住みやすい環境が整った地域を実現 ・食の安全を確保するため、食品加工業者における輸入や加工の過程を、さらに透明化させる取組が必要 ・健康づくり先進県を目指して、県立総合大学の主催講座として、民間指導者が事業所などに出向いて「山登り教室」「マラソン教室」などを行うとともに、休日には「山登りイベント」などを開催し、県民の活動の拡大を図る ・運動を目的とした様々なイベントを開催、運動施設やウォーキングロードの設置等により、糖尿病患者の減少を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりや助け合いの精神を育むため、学校・家庭・地域が連携し、道德教育を充実 ・小中高校で英語以外の第二外国語(中国語など)を学べるようにし、国際人として活躍できる人材を育成 ・習熟度別授業を実施し、個々のレベルに対応した授業により効率的に学力の向上を図る ・介護人材を確保するため、待遇等の改善に取り組むとともに、中高生を対象とした介護施設での職場体験等により、介護分野への就職を支援 ・障害のある方の雇用の場を確保する等、障害の程度に応じた自立を支援し、地域や社会との関わりをもつことができる体制づくり ・幼稚園・保育所と老人福祉施設の機能を併せた総合的な施設を設置し、子どもから高齢者まですべての人の心がふれあう、住みやすい社会を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光などの自然エネルギーやバイオマスエネルギーなど、新エネルギー導入を促進し、環境首都とくしまを実現 ・人・自転車等のための道を整備して、自動車中心の街から人中心の街に転換 ・レジ袋有料化の取り組みを県下一円に広げることで、環境首都とくしまを全国にPRするとともに、家庭からのエコ活動を考える契機とし、一層の循環型社会推進を図る ・家電製品やパソコンだけではなく、ペットボトルをはじめ幅広い製品でデポジット制度が導入され、リサイクルの仕組みがしっかりと確立された社会の実現 ・四国八十八カ所の世界遺産登録に向けて環境美化運動を推進 ・ニューヨークのセントラルパークのように、100年後を見据えた自然環境の保全・創造、街・景観づくりを進める思想と取組が根付いた徳島の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・新町川沿いの水辺の潤いとアニメなどサブカルチャーを組み合わせたイベントをさらに充実 ・県等が異業種交流の機会を設けマッチングを行うことにより、観光地周辺の農業・企業・観光業等が連携して、地域の特産物を商品化し、売れる「観光みやげ」を開発 ・地元企業の工場見学(大塚製薬や日亜化学など)と観光地を組み合わせた「産業観光」を推進 ・スポーツ少年団の指導者に対する研修や指導、また、総合型地域スポーツクラブとの連携により、子ども達に多くのスポーツに触れさせ、能力に合った競技を選択できる環境づくりを行い、国際舞台で活躍できる選手を育成 ・山村地域に「英語特区」など英語学習に特化した仕組みをつくり、「山村留学」と併せて行うことにより、子どもを呼び込む ・大型商業施設に負けない利便性の高い地元商店街の再生 ・路線バスの不採算路線をコミュニティバス化することなどにより、車(免許)を持たずとも、地域内の移動に不自由がない徳島を目指す